



模型実験による自動車用強制制動体の性能評価と最適化

材料強度解析・性能評価

技術分野分類 5506：機械力学・制御

技術キーワード 材料力学、衝撃工学、自動車衝突安全

産業分類 L71：学術・開発研究機関

内 容	概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転操作ミス等により誤って侵入した自動車を強制的に停止させる、自動車用強制制動体の特性を評価し最適化する。 ・ 安全性を保持しつつ制動性能向上を図るとともに、最適な強制制動体の構造（高強度化、軽量化など）を提案する。
	従来技術・競合技術との比較（優位性）	道路工事現場等における車両の進入事故防止や安全のため、十分な防護機能を有さないクッションドラム、コーン、矢印板等に替わり、ギリシャ文字のλのような構造をした自動車用強制制動体が使用されるようになってきたが、制動性能の向上や最適構造設計に関し、十分な調査研究が行なわれていないのが現状である。
	本技術の有用性	本研究では、自動車を強制的に制動するために設置されるλ型強制制動体を対象として、制動特性を評価することを目的とし制動性能向上を図る。最適な強制制動体の構造設計（高強度化、軽量化など）や新しい制動機構、装置の検討、提案へとつなげ、衝突安全性向上による事故低減を目指す。
関連情報 （図・表・写真等）		
適用可能製品		
技術 シース 所有者	氏名 所属・役職	西村 尚哉（にしむら なおや） 名城大学 理工学部 交通機械工学科 教授
技術 シース 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	名城大学 学術研究支援センター 052-838-2036 / 052-833-7200 sangaku@ccml.meijo-u.ac.jp

■知的財産

■試作品状況

無

提示可

提供可

作成日 2017 年 12 月 15 日